

ごみ減量化プロジェクトの経過報告

王寺町では、ごみ焼却時のCO2排出量を削減するため、令和3年度より「ごみ減量化プロジェクト」を始動し、家庭から出る可燃ごみの1人1日当たりの量について、令和元年度の570gから▲100g(近隣1市8町の平均値470g)の達成をめざしています。

主な取組として、雑がみ保管袋の全戸配布(令和3年11月・令和6年9月)や町内4か所の資源ごみ回収ステーション設置(令和4年4月)により資源ごみ収集量の増加を図り、可燃ごみの減量化をめざしています。

1. 目標

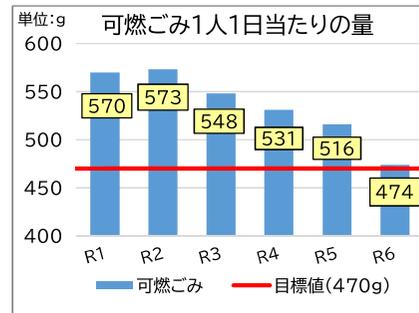
可燃ごみ(1人1日あたり) ▲100g [570g(R1実績) ⇒ 470g(R10目標)]

2. 現在のごみの量

可燃ごみ(1人1日あたり)の量(令和7年3月末時点)
474g [令和元年度570gから約▲96g]

令和6年度実績は、令和元年度の570gから約▲96gとなっており、目標値まであと4g。

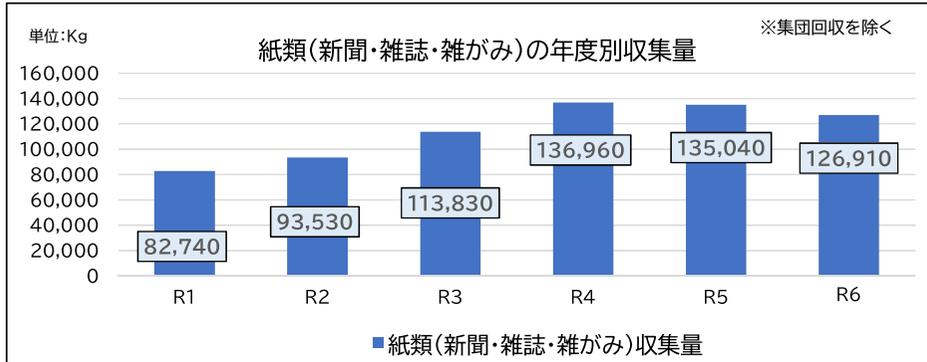
<家庭系可燃ごみ>
令和元年度 5,022t → 令和6年度 4,098t (▲924t▲18%)
※令和5年度 4,506t



3. 雑がみ回収袋・資源ごみ回収ステーションの効果

紙類(新聞・雑誌・雑がみ)の収集量における令和6年度実績は、取組開始(雑がみ回収袋の配布)の令和3年度実績と比較して **11.5%増加** → 可燃ごみの減少

※雑がみ…新聞・雑誌・ダンボール・紙パック以外のリサイクル可能な紙



4. 令和7年度の取組み

(1) 資源ごみ回収ステーションの周知徹底及び利便性向上

○いつでも資源ごみを出せる「**資源ごみ回収ステーション**」4カ所の周知徹底

【設置場所】旧中央公民館前、いずみスクエア、文化福祉センター横、清掃事務所前
【利用可能時間】 8:30~17:15 (閉鎖日:年末年始、設置場所の休館日)
【対象資源】「ダンボール」、「新聞・雑がみ類」、「ペットボトル」、「紙パック」、「白色トレイ」、「空きカン類」
【利用状況】 1,200kg~1,600kg/月(4か所)
うち、ダンボール 50%、雑誌・新聞 40%、ペットボトル、缶、トレイ、紙パック 10%
(土日、祝以外は、原則毎日見回りを実施)

(2) 義務教育学校での環境教育

・環境教育での**雑がみ回収袋の配布**
(義務教育学校4年生対象※約230名)



環境教育
(南義務教育学校)

(3) 広報・啓発等による効果促進

○広報紙への特集記事及び町公式サイトへの実績・効果の掲載等

(4) 再生資源集団回収助成金

○自治会や子ども会等が実施する集団回収の利用を促すため、王伸や自治会回覧板で啓発
○再生利用可能な一般廃棄物の**集団回収活動を自主的に行う団体に対し助成金を交付**
(1kgにつき5円)

令和6年度 46団体登録 (回収実績 409t)前年度より▲61t	助成金額 2,045,315円
令和5年度 48団体登録 (回収実績 470t)	助成金額 2,350,000円
令和4年度 52団体登録 (回収実績 525t)	助成金額 2,625,000円
令和3年度 51団体登録 (回収実績 548t)	助成金額 2,740,000円
令和2年度 52団体登録 (回収実績 536t)	助成金額 2,680,000円
令和元年度 52団体登録 (回収実績 616t)	助成金額 3,080,000円

